

開運成就 粟生聖天

真言宗 智山派

定福寺だより



定福寺講堂 令和8年4月12日 落慶法要予定

蓮咲くは
笑い地蔵の
在す寺

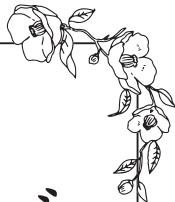
能傳子

新四国曼荼羅靈場第六十一番

2026年65号

ひのえうま
丙午

ごあいさつ



皆様におかれましては、日々御信心に定福寺にご高配を賜り、寺族一同感謝の念に堪えません。

皆様の御助力のお陰様で、「定福寺開創千三百年・弘法大師生誕千二百五十年記念行事 定福寺講堂並びに定福寺講堂に関わる境内整備事業」が執り行われています。

令和七年五月八日に地鎮祭を執り行い、講堂の建設が開始されました。ひとえに皆様の御寄進と高知銀行様のご融資のお陰様です。御寄進の合計は令和七年十二月時点で九千三百九十万七〇五七六円となりました。御寄進を賜りました皆様には心より感謝を申し上げ、お名前は講堂の壁に永年掲示をさせて頂きます。また今後ご助力いただける方も同様に掲示させて頂きます。高知銀行様には八千万円のご融資を賜りました。

令和七年度は、定福寺の境内が変化していく様子を、ご覧になられた方も多いかたではないでしょうか。大きなところでは、講堂の建築をはじめ、第二駐車場の整備、屋号東（東の坊）周辺の散策道の整備、本堂までのスロープの設置、宝物殿へのスロープの設置、本堂前鐘楼堂付近境内の砂利の交換、境内を横切る町道側面の石垣化などがありました。

屋号東は、故田内総一郎様、故田内美伎子様ご夫妻の所有地を、田内家長男様の奥様と御子息のお申し出によりお譲り頂きました。また第二駐車場は、西村敬史様の御高配によりお譲り頂くことができました。これにより、境内で車いすやベビーカーをご利用いただき、散策ができることになりました。本堂内までも車いすでお入り頂き、ご参拝がいただけるようになりました。「旅の情報サイト 高知県バリアフリー観光」にも定福寺が掲載されています。

定福寺は明治まで、お堂が十二宇ありました。仁王門から持仏堂（十一面觀音堂）まで回廊があり、仁王門、鐘樓堂、経蔵や寺子屋のような学ぶ場所、剣道場などがあつたことがわかつています。これらは明治の廢仏毀釈の影響ですべて無となりました。以後、先師・先人たちの努力により現在



の伽藍となりました。今回、講堂が建設されたことによって、定福寺のかつての機能が、すべて復元されたことになります。

本当に皆様のお陰様です。

定福寺の先師の記録から、定福寺は『祈る場』であり、学ぶ場であり、集う場である」とがわかります。先師の記録は、お檀家・信者の皆様、豊永郷に住む我々だけではなく、現代を生きるすべての方々にとつても、重要な意義があると考えています。

『祈る場』である定福寺の諸堂の祈りは、代々引き継がれてきたものであり、妥協は一切いたしません。毎朝の七時からの勤行、毎月一日・十六日の聖天尊祈祷、毎月二十八日の不動明王護摩祈祷を始め、一月正月三が日護摩祈祷、二月節分星供護摩祈祷、三月彼岸会法要、四月土砂加持法要、五月お釈迦様誕生会、六月・七月・八月・九月各地区（三十ヶ所以上）お堂まつり仁王会、八月盂蘭盆会総供養、十一月聖天尊（歓喜天）浴油祈祷、十二月除夜の鐘。お札も多くの版本が残り引き継がれています。

今回講堂には、成田山新勝寺伝来の不動三尊が安置されます。不動明王は2m50cm、脇の制多迦童子・矜羯羅童子は1mです。またその両脇の棚には、各地区のお堂で管理ができるくなつた仏さまを安置し、いつでもお参りできるようにさせて頂きました。

『学ぶ場』もある定福寺には、多くの経典や解説書、本が収蔵されています。残念ながら多くの史資料は焼失いたしましたが、残つた資料や本は貴重なものであり、かつて多くの僧侶や人々が、定福寺で学んでいたことがわかります。

講堂の壁は三面を、本棚といたしました。こちらに絵本から専門書まで



住職 釣井 龍秀

書館より本の寄贈を頂いており、それらも設置されます。また壁は、定福寺で行う企画展などの際は、展示スペースとなります。豊永郷のことを研究調査される学生さんや研究者の方々には、定福寺ユースホステル時代と同様に、微力ではありますご協力をさせて頂ければと思います。講堂内は机を入れた場合、七十人ほどが座ることができる、机をのけると一二〇人以上が椅子にお座り頂ける場所になります。こちらでは、様々な研修や写仏・写経会、講習会が行われる予定です。

『集う場』であつた定福寺には、盆踊りなど様々な行事に多くの人が集い、剣道場には豊永郷の武士が修練に來ていた様子もうかがえます。講堂建築に伴い、多くの方にお越し頂く準備を進めてまいりました。重要なのは駐車場の確保でした。大型バスを止める場所が無いので、ご案内できないと旅行会社さまにお話を頂いたり、初めて参拝にお越しになられた方は、道が狭くて怖くて上がれない、というお話をお聞きいたしております。講堂建設に合わせて国道四三九号線沿いに、第三駐車場を作りました。一方で、毎日駐車される場所ではありませんので、多くの方に自由に体を動かして、お使いいただけるようにと、人工芝を敷くことといたしました。剣道場ではなく多目的スペースとして、皆様にお使いいただければと、考え作られた場所です。第三駐車場から、仁王門までの石段の両側には、散策できるような場所や、休憩いただけるようにベンチをご用意いたしました。ご自由にお使いいただき、豊永郷の風景を楽しんで頂ければと思います。

講堂は、広く文化活動ができるよう、皆様にお集まりいただき楽しめます。定福寺は、来ることができる人だけが来る場所ではなく、来たい人が来ることができる場所でなくてはならないと思い、このような形にいた



を設置いたします。数年前より高知県オーテピア高知図書館より本の寄贈を頂いており、それらも設置されます。また壁は、定福寺で行う企画展などの際は、展示スペースとなります。豊永郷のことを研究調査される学生さんや研究者の方々には、定福寺ユースホステル時代と同様に、微力ではありますご協力をさせて頂ければと思います。講堂内は机を入れた場合、七十人ほどが座ることができる、机をのけると一二〇人以上が椅子にお座り頂ける場所になります。こちらでは、様々な研修や写仏・写経会、講習会が行われる予定です。

定福寺のある豊永郷の自然は素晴らしい、境内にも大賀蓮や紅葉など万葉植物や希少植物、青いミツバチやアサギマダラなど、自然を楽しむために多くの方にお越し頂いております。多くの恵みを与えてくれる自然ですが、良い面ばかりではないことは、多くの方がご存知だと思います。豊永郷の地形は、四国沖の南からのプレート移動により、急激に押し上げられて山岳地帯が形成されました。さらに緑色片岩というもうろい地質であつたため、北向きの斜面は地すべりが多く、傾斜は緩いが日当たりが悪いカゲジとなり、南向きの斜面は崩落により、傾斜はきついが日当たりの良いヒノジとなりました。この地すべりや崩落の跡地に人が住みついた場所が、豊永郷の集落といわれています。

カゲジは地下水を多く含むことで地すべりを誘発し、跡地にも水が豊富に残りました。山の中腹でありながら湧き水に恵まれ、山の中腹にも集落ができたとされています。南からのプレートの影響により、三百万年前から千年に一度大きな地震に見舞われています。

今回完成した講堂は、耐震設備が整い、避難用具や食料なども常備いたしております。定福寺では災害への対応も徐々に進めてまいりました。

これらもすべて、ご助力を頂きました皆様方のお陰様です。本当にありがとうございました。

定福寺講堂の落慶法要が四月十二日（日）十時半から行われます。境内ではお餅蒔きも行われます。また稚児行列も行います。稚児行列に参加されたい方は二月中にご連絡を頂ければと思います。

今後ともこれまでと変わらず、温かく定福寺を見守つて頂ければ幸いです。



地鎮祭

地鎮祭と言えば、神道を皆様は連想されると思います。しかし、チベットでも西暦七百年代に地鎮作法が行われている絵が残つており、日本でも地鎮祭について鎌倉時代の『徒然草』に「天台地鎮 真言御修法」とあり、地鎮祭は天台宗、御修法は真言宗と書かれています。ちなみにこの御修法というのは、平安時代、宮中で毎年正月八日から七日間行なわれた真言祈祷です。宮中の真言院で御修法は行われ、後七日の御修法という。現在は東寺で毎年真言宗十八本山から僧侶が出仕し執り行われています。最終日は一時間だけ堂内を参拝することができます。



と天台宗の寺院でも様々な土地の神々が祀られています。

定福寺の西側には、定福寺の鎮守として熊野権現が祀られる熊野神社があります。熊野神社も平安時代に作られたと記録があり、神像は定福寺の宝物殿に安置されています。

東寺で行われる御修法でも神々を供養する壇がありますが、定福寺の毎朝の勤行時や、護摩祈祷や節分星供祈祷、聖天尊浴油祈祷などすべての修法の最初に、この熊野権現への供養が、現在も行われています。

明治時代まで、寺院には神々にお供えをする供僧などがいました。江戸時代の棟札には、竹林寺と定福寺が、神々のお祈りをしていた様子が記された棟札が、宝物殿に残っています。

●地鎮祭の地天 墓牢地神

真言宗智山派の經典に、一般の家やお寺の庫裡などを建立する際は、「土公供」という地鎮作法を行ないます。

天台宗や真言宗などの密教では、土地は神々が護り、その上に仏堂などが建立され、仏法が興隆すると考えていきます。高野山や比叡山にも神々が祀られ、高知県内の各真言宗

地鎮鎮壇作法は、お堂を建立する際の作法であり極めて稀なものでした。

土公供・地鎮鎮壇共に、地天に土地を貰うための作法です。地天は堅牢地神とも云い、胎藏曼荼羅に描かれています。曼荼羅は弘法大師が八〇六年に御請来されました。



●地鎮鎮壇

地鎮鎮壇では、寶瓶・輪と櫛（けつ）と玉を埋めます。寶瓶は中央に輪と櫛は八方に埋めます。玉は四方に埋めます。同時に真言を呪じながら供物を供えます。修法は寅の刻（四時）から行います。修法は寅から修法を始めました。



各所に供する



第二駐車場と定福寺ユニバーサルデザイン化

定福寺の鐘楼堂の西側に昔からあった、駐車場の鉄筋が腐食していることを、お檀家様にお伝え頂き、二〇一八年に改修いたしました。これにより車が五台多く止めることができます。第一駐車場の下に第二駐車場のスペースと多目的トイレを設置することができました。しかし進入口が急斜面であり、多

くの方が使用することができませんでした。今回西村敬史様のご高配により、土地を寄贈頂き、新たな進入路と駐車スペースが完成いたしました。これにより、高知県バリアフリー観光の地としても定福寺を散策いただけることとなりました。またこれに合わせて、先師の墓所から本堂まで石畳が敷かれ、本堂内まで車椅子でご参拝頂けることとなりました。



椅子でご参拝頂けることとなりました。境内の木道だった個所も石畳となり、持仏堂、宝物殿、講堂も車椅子でご参拝頂けることとなりました。多目的トイレは、第二

寺講堂内の二カ所にございます。講堂から持仏堂に車椅子でお入り頂けます。



定福寺所蔵 牧宥恵作『十二天屏風』より

サイクルオアシス



第二駐車場に設置されたサイクルオアシス

定福寺ユースホステルが運営されている時には、多くのサイクリングをされる方がお泊りになられ、またレンタサイクルもいたしております。それらの時のご縁に感謝を込めて、現在、定福寺ができることがサイクルオアシスに登録し、サイクリングの方にお接待をする

定福寺の第二駐車場に、サイクルオアシスの旗と自転車の駐輪台、空気入れが設置されています。高知県寺が登録され、これらの道具が高知県より支給されました。自転車で移動されている方に、トイレや水分を補給していただき、休んで頂く場として認められました。

定福寺ユースホステルが運営されている時には、多くのサイクリングをされる方がお泊りになられ、またレンタサイクルもいたしております。それらの時のご縁に感謝を込めて、現在、定福寺ができることがサイクルオアシスに登録し、サイクリングの方にお接待をする

定福寺では毎年節分に、「節分星供護摩祈禱」を厳修致しております。これは、生まれた年に関係しているので、この星は変わりません。当年星は、一年ごとに巡る星のことです、正式には当年属星といいます。

定福寺では毎年節分に、「節分星供護摩祈禱」を厳修致しております。これは、生まれた年に関係しているので、この星は変わりません。当年星は、一年ごとに巡る星のことです、正式には当年属星といいます。

西）、廉貞星（辰・申）、武曲星（巳・未）、破軍星（午）のことをいいます。これは、生まれた年に関係していますので、この星は変わりません。当年星は、一年ごとに巡る星のことです、正式には当年属星といいます。

令和八年二月一日（日）
護摩祈禱は、十時からとなります。

定福寺ホームページよりお申し込みやご祈祷料をお納め頂けます。郵送希望の方は、送料もお選びくださいませ。

本年の定福寺節分星供

ます。福男福女になられた方は、ご連絡を頂けるとありがたいです。人数に制限がありますので、お早めにお申込みください。



妙見菩薩

これら星々を供養し、国や個人の一年間の幸福を祈り、災いを除く祭りが、星供護摩祈禱で、星祭りといわれます。



節分お申込み QR



節分ご祈祷料お納め QR

西）、廉貞星（辰・申）、武曲星（巳・未）、破軍星（午）のことをいいます。これは、生まれた年に関係しているので、この星は変わりません。当年星は、一年ごとに巡る星のことです、正式には当年属星といいます。

定福寺では妙見菩薩を本尊に迎え、星曼荼羅を掲げ、本命星（ほんみょうじょう）と当年星（とうねんじょう）の星供護摩祈禱を執り行います。妙見菩薩は、北極星や北斗七星を司る天部の仏さまです。星神社といわれる場所には、妙見菩薩の仏像が祀られている場所が多いです。

本命星は、北斗七星の七つの星である、貧狼星（子）、巨門星（丑・亥）、祿存星（寅・戌）、文曲星（卯・



星供曼荼羅

聖天尊浴油祈祷

をお唱えしながら揚げます。

十一月になると本堂には、変わつ

た幕が掲げられます。御存じない方は、何ですか、と質問されることもあります。定福寺のお祈りは、代々引き継がれ、全国的に見ても珍しく、引き継がれているお祈りも多々あります。

天（天）浴油祈祷です。歡喜天の象徴的なお供え物が、歡喜団（お団）とお大根と歡喜酒（お酒）です。この歡喜団とお大根が描かれた幕が掲げられます。

現在でも多くのお寺で浴油祈祷は厳修されていますが、行者が家族とは別棟に籠り、誰とも会わず、自分で精進料理を作り、身の回りのことは自分で行いながら、修行に集中しているのは珍しいと思われます。それに加え何より珍しいのは、聖天尊（歡喜天）へのお供え物の、歡喜団（お団）のレシピを江戸時代から引き継ぎ、現在まで手作りで行事者も一緒に作られているということです。

かつては県外のいくつかのお寺で、作っていたというお話は、お聞きいたしますが、現在も続いているお寺を存じ上げません。

歡喜団（お団）を胡麻油で揚げる前には、お祈りをし、御真言



聖天尊お申込みQR



聖天尊ご祈祷料
お納めQR

十一月九日から十六日まで浴油祈祷が行われますが、お申込みいただいた方は、翌年の十一月八日まで毎日お祈りし、一日と十六日は、御祈祷者の皆様のお名前を読み上げ、修法を行っています。また、途中でお申込みになられた方は、浴油祈祷された御分身の御札に、お名前と願文を記し、新たに二週間以上、毎朝お祈りをし、後日お届けを致しております。お申込みになられたその日から、十一月八日までご祈祷が続けられます。

結願の十一月十六日の朝、初めて本堂が開かれる時（七時三十分から八時頃）のみ、行者は浴油祈祷が成満した直後であり、白い衣で皆様をお迎えいたします。

定福寺ホームページからお申し込みと御祈祷料をお納めいただくことができます。

豊永郷にある定福寺が主に訪れる地区が、三十六ヶ所あります。それらの地域にはすべて、お堂とお宮が建立され、お堂は定福寺の飛び地境内として、地域の方々に護られています。



旭観音堂

豊永郷にあ

ままで車椅子で参拝もできます。ご法事も執り行われ、ご法事の後は、鏡川を眺めながらお食事もできます。

ご法事を御希望の方は、定福寺までご連絡を頂ければと思います。
住所 高知市玉水町62-1

催されます。スロープがあり、堂内

末日までにお申し込みください。そ

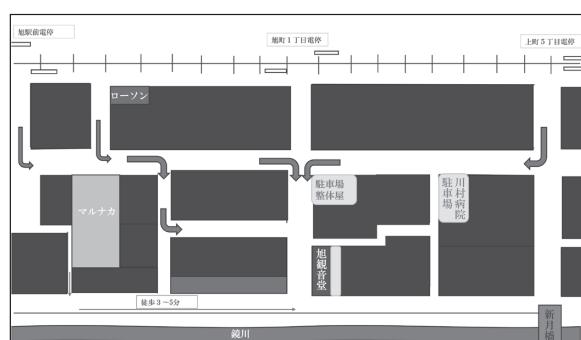
の際に年齢やお洋服のサイズなどをご確認いたします。また定福寺ホー

ムページからもお申込み頂けます。

参加費は、お供えとして二万円です。

稚児行列のお稚児さん募集

定福寺では、令和八年四月十二日（日）の落慶法要の際に、定福寺の仁王門の下にある田内さん宅（屋号東）から講堂まで稚児行列を執り行います。お稚児さんの衣装などは、定福寺がご用意いたします。参加者は小学三年生までのお子様です。行列



写仏・写経のご案内

定福寺では、豊永郷の定福寺と高知市内の定福寺旭観音堂で写仏・写経会を開催いたしております。定福寺旭観音堂では、毎月一回、定福寺では、四月十二日の講堂落慶以降は、毎日いつでも写仏・写経が行えます。四月十二日までは、持仏堂で写仏・写経会を行つていていますので、定福寺でのご法事の際はご遠慮いただいております。

京都の総本山智積院での修行中に、牧宥惠師に写仏をご指導いただきました。写経がお手本の般若心經を下に置き、その上に薄い和紙をのせ文字を写しますが、写仏は、仏さまをお写しさせて頂きます。經典と仏さまは仏教徒にとって、どちらも尊い存在であり、大事に写させていただきます。



写仏・写経をされた後は、お持ちになられても結構です。また定福寺の経筒に納められ、奉納することも可能ですが、定福寺に古く残るのは、鎌倉時代の写経です。

境内案内図完成

定福寺は、境内の真ん中を町道が抜けることとなり、伽藍の配置やお手洗いなどがわかりづらくなつており、よく問い合わせの電話や今どこにいるのでしょうか、という応対がありました。この度、境内と第三駐車場に境内案内図が設置されました。また旧国道四三九号に沿う階段付近にも設置予定です。



旅行者と龍馬バスポート

龍馬バスポートが開始され、豊永郷民俗資料館は登録をさせて頂いています。その後、定福寺宝物殿、日本の原風景を体験するプログラムとして、土佐豊永万葉植物園を巡り、お茶やお華を体験するプログラムに参加をさせていただいているります。新たに土佐

茶やお華を体験するプログラムに参加をさせていただいているります。新たに土佐豊永万葉植物園も予定で加入する

また、SNSを通じて、大歩危など三好市を訪れた方が、定福寺まで足を延ばしてくださっています。大変ありがとうございました。

これからもお越し頂いた方々が、ゆっくりできますように入れをさせて頂きたいと思います。



お茶・お華体験座敷

予定で加入する

通じて定福寺を知り、大変喜んで帰られた方の報告などが掲載されています。

第三駐車場から仁王門までの整備

第三駐車場から仁王門まで、定福寺で整備を三年間してきましたが、上手く整備ができませんでした。今回香南大地さんにお願いし、整備をお願いいたしました。本堂までのスロープも香南大地さんが綺麗にしてくださいました。



講堂建設志納金の感謝録

定福寺檀家、信徒、縁者の皆様には講堂建設へ
多大なる御協力を賜っております。御志納に対し
まして深く感謝申し上げますと共に、ここにご報
告申し上げます。

金額につきましてはこれまで御志納をいただきました金額の総計を載せさせていただいておりました。尚、「定福寺だより」作成の都合上、令和七年十二月一日までに御志納いただいた方の御芳名を順不同にて載せさせていただきます。ご了承くださいませ。

仏具寄進

一、金 藤澤 真淨様
柚木 三十万円也
大平 前田幸太郎様
怒田 三谷 啓子様
大田 芳男様
かおり様

沖	東京都	栗生	八畠	連火	一、金
前田	上村	釣井	信高	上村	十萬円也
大子様	上村	照子様	春代様	幸夫様	
	友恒様	賀恒様			

一、金	落合	川井	高原	中内	一、金
三万円也		一、金	一、金	十二万円也	
上村幸子・三谷等代様	篠岡	小松 岩本	門田	渡辺	永森
上村	上池	浩久様 正弘様	浩人様	和子様	広子様
平石	サチ様	渡辺	門田		
近藤幸紀子様	三谷	藤原 道夫様	墨子様		
行和様	武昭様	幸男様			
上村	秋了様				
上村幸子・三谷等代様	盛朗様	三万円也			岡本 佐竹 森本 鈴子様
					弘義様

東土居	一、金	栗生 一、金	十二万円也
		田内美伎子様	三谷 啓子様
		小笠原康太様	門田 千鶴様
		西村 敬史様	都築 清様
		阿波井 忠彦様	都築 一久様
		三谷 忠夫様	門田 末子様
		小笠原輝美様	将子様
	一万円也	小笠原和行様	都築重太郎様
	三谷富二子様	小笠原和行様	大滝 一、金
		小笠原和行様	小松 栄子様
		小笠原和行様	小松 俊久様
		小笠原和行様	五万円也
		小笠原邦夫様	十二万円也

一、金	八畝	西谷 侑紀様
一、金	十二万円也	小笠原俊一様
一、金	三万円也	丸亀八重子様
一、金	一万円也	大家 幸久様
一、金	六万円也	小笠原伊豆子様
一、金	六万円也	都築 長生様
一、金	六万円也	西村 浩一様
一、金	六万円也	大地まり子様
一、金	六万円也	大家 一重様
一、金	六万円也	笛岡 省一様
一、金	六万円也	岡林 真理様
一、金	十二万円也	西梅 優一様
一、金	二十二万円也	小笠原信子様
一、金	五十万円也	松本 秋子様
一、金	五十万円也	平石 義信様
一、金	二十二万円也	南 博志様
一、金	五十万円也	秋山 公生様
一、金	五十万円也	西村 藤子様
一、金	五十万円也	小笠原須香子様

一、金	三谷	西土居	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
井岡喜久子様	岡崎	都築	島崎	高木春太郎様	山本	松高	西村
六万円也	三谷	満子様	幸様	洋一様	洋子様	正子様	中和彦様
均様	三谷	英美様	高木春太郎様	樹様	光子様	俊二様	國男様
一、金	十二万円也	延様	三万円也	義文様	幸雄様	小笠原茂夫様	山中和彦様
井岡喜久子様	岡崎	延様	高木	三万円也	松高	西村	山中松高
六万円也	三谷	英美様	降晴様	高木春太郎様	正子様	中和彦様	山中松高
一、金	十二万円也	延様	三万円也	義文様	俊二様	國男様	渡辺亀菊様

一、金	岩原	下村 忠義様 小笠原克安様
一、金	五十万円也	下村 晓徹様 下村 多美子様
一、金	二十五万円也	森下 守良様 下村 信幸様
一、金	二十万円也	下村 ヤスコ様 下村 直史様
一、金	十三万円也	岡崎 博臣様 藤原 正至様
一、金	十二万円也	下村 和鹿子様 下村 照子様
覧	貞子様	小笠原 清司様 藤原 米子様
三谷	倫子様	小笠原 利雄様 豊永 稔仁様
三谷	三谷	小笠原 俊久様

一、金 十二万円也
船戸 山本 富男様
六万円也 小笠原ヨシ子様

一、金 一百万円也
和田目付 前田 浩二様

高知市 一、金 百万円也
竹林寺住職

一、金 五十二万円也
海老塚和秀様

一、金 五十万円也
小松 久保様

(有)成豊建設 上村 一正様
土居 瑞様

一、金 四十二万円也
小笠原悦弘様

一、金 四十万円也
渡辺 康男様

一、金 三十万円也
上地 幸男様

一、金 二十万円也
北村 真一様

一、金 十八万円也
下村 賀基様

一、金 都築 敏郎様
澤田 美紀様

一、金 十五万円也

一、金
十二万円也

井上	央様	岡崎	順一様	小笠原郁子様	小笠原育彦様	小笠原喜代子様	小笠原祥一様	小笠原光子様	小笠原秀郎様	小笠原健夫様	上地	正子様	上村	馥様	上村	積夫様	上村	太喜夫様	上村	義久様	上村	賀彦様	上村	吉秋様	上村	太喜夫様	佐野	下村	高橋	砂田	瀧下	田内喜久世様	中西	清彦様	長野	永森	西村	満恵様	孝弘様	美智様	智晴様	靖夫様	英伸様	元明様	茂様	一郎様	節子様	英伸様	下村	佐野	北窪	北添ひとみ様	小松	北窪	佐野	下村	高橋	砂田	瀧下	田内喜	中西	長野	岡崎	大崎	園子様	和様	廣様	園子様	和様	廣様
----	----	----	-----	--------	--------	---------	--------	--------	--------	--------	----	-----	----	----	----	-----	----	------	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----	----	----	----	----	--------	----	-----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	----	----	----	--------	----	----	----	----	----	----	----	-----	----	----	----	----	-----	----	----	-----	----	----

信高 平石 藤原 惠一郎 横平子 幸子 様
平石 藤田恵 美子 様 甲子郎 様
君子 様 佐竹 尾立 氏原 上田 笹岡 門田 豊永 弘瀬登 石本 喜久子 様
佐竹 尾立 氏原 上田 笹岡 門田 豊永 弘瀬登 石本 喜久子 様
君子 様 佐竹 尾立 氏原 上田 笹岡 門田 豊永 弘瀬登 石本 喜久子 様
幸子 様 佐竹 尾立 氏原 上田 笹岡 門田 豊永 弘瀬登 石本 喜久子 様

一、金	一、金
都築登喜子様	白石重喜様
弘田允英様	三谷節夫様
賀徳様	三谷南
禮子様	上村西村
正男様	藤原一男様
正様	三谷一彦様
純清様	三谷畦地美知子様
小笠原敏雄様	中川和博様
和博様	三村佐竹
修昌様	上村
國之様	松田
宏様	三谷
邦夫様	森岡
俊幸様	佐竹
和子様	松田
輝明様	上村
吉市様	西村
重美様	岡村
和男様	上村
榎岡袈裟穂様	岡村
松岡未喜様	山本
百合子様	川西敏子様
典子様	山中
裕子様	戸田
九万五千円也	十万円也

一、金	一、金	一、金
小笠原由美子様	和田樹霖様	飯田順一様
三谷幸正様	三谷晴澄様	小笠原侶子様
宮崎上岡孝夫様	一万円也	岡崎池内一之様
		五万円也

一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
十五万円也	二十万円也	一千円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也
十五万円也	二十万円也	一千円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也
十五万円也	二十万円也	一千円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也
十五万円也	二十万円也	一千円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也	一千五百円也

一、金	小笠原雪子様	国分寺住職
一、金十二万円也	小笠原良一様	林 隆光様
金子 糸枝様	門田 利彦様	
門田 利彦様	北村 小林	
北村 小林	佐竹 都築	
佐竹 都築	正子様	
正子様	豊永 英夫様	
豊永 英夫様	西村 美津子様	
西村 美津子様	古地 裕和様	
古地 裕和様	前田 和男様	
前田 和男様	三谷 清信様	
三谷 清信様	松高 俊美様	
松高 俊美様	三谷 政博様	
三谷 政博様	三郎様	
三郎様	森本 嘉昌様	
森本 嘉昌様	下村 定様	
下村 定様	佐竹 文雄様	
佐竹 文雄様	依光 悅穂様	
依光 悅穂様	永澤 佳景様	
永澤 佳景様	大家 福盛様	
大家 福盛様	北村 幹雄様	
北村 幹雄様	佐竹 俊秀様	
佐竹 俊秀様	村上 勝様	
村上 勝様	岡崎 ヨシ子様	
岡崎 ヨシ子様	小笠原美智様	

香美市	一、金	香南市	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
一、金	十六万円也	齊藤佐津子様	森下 理志様	北岡 利之様	三千円也	二万円也	岡崎 太助様
一、金	十二万円也	小笠原昭寛様	下村 久夫様	田淵 能生様	五百円也	一万円也	森尾 麻依様
一、金	六万円也	小笠原邦彦様	門田 賢一様	匿名 様	三千円也	二万円也	豊永 清香様
一、金	三万円也	小笠原幹雄様	北岡 利之様	森下 理志様	三千円也	二万円也	匿名 様
一、金	一万円也	西谷 芳信様	中西 静様	下村 令子様	十六万円也	十二万円也	岡崎 太助様
一、金	三千円也	吉田 安成様	小笠原幹夫様	大家 正福様	森下 理志様	三千円也	岡崎 太助様
一、金	三千円也	小笠原幹夫様	上村 和夫様	都築 繁美様	北岡 利之様	六万円也	六万円也

東洋町	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
一、金	二十万円也	河野 溝済商店様	西村 盛様	西村 一万円也	森本 賴雄様	平石喜代富様	寺村 勉様	代表取締役	株式会社テラムラ	五万円也	六万円也	十五万円也
一、金	十三万円也	岡本 垣子様	三谷 千代美様	三谷 三万円也	北村 真一様	十二万円也	山本 芳子様	須崎市	一、金	土佐市	一、金	室戸市
一、金	十二万円也	岡本 垣子様	三谷 美智代様	三谷 三万円也	五万円也	十二万円也	小笠原和雄様	山元 文明様	一、金	土佐市	一、金	宝寿寺
一、金	五千円也	石川 照美様	前田 嘉俊様	前田 五千円也	五千円也	五十万円也	閑口 智嗣様	五百円也	一、金	福島県	一、金	大西 龍真様
一、金	三千円也	柳村眞理子様	嘉俊様	上村 公昭様	上村 公昭様	百万円也	熊坂 敏江様	五千円也	一、金	北海道	一、金	理子様

いの町	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
一、金	十三万円也	岡本 垣子様	三谷 千代美様	三谷 三万円也	北村 真一様	十二万円也	山本 芳子様	須崎市	一、金	土佐市	一、金	室戸市
一、金	十二万円也	岡本 垣子様	三谷 美智代様	三谷 三万円也	五万円也	十二万円也	小笠原和雄様	山元 文明様	一、金	土佐市	一、金	宝寿寺
一、金	五千円也	石川 照美様	前田 嘉俊様	前田 五千円也	五千円也	五十万円也	閑口 智嗣様	五百円也	一、金	福島県	一、金	大西 龍真様
一、金	三千円也	柳村眞理子様	嘉俊様	上村 公昭様	上村 公昭様	百万円也	熊坂 敏江様	五千円也	一、金	北海道	一、金	理子様

東京都	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
一、金	五千円也	平尾 修章様	前田 嘉俊様	前田 五千円也	五千円也	五十万円也	閑口 智嗣様	五百円也	一、金	福島県	一、金	北海道
一、金	三千円也	柳村眞理子様	嘉俊様	上村 公昭様	上村 公昭様	百万円也	熊坂 敏江様	五千円也	一、金	北海道	一、金	北海道
一、金	三千円也	石川 照美様	嘉俊様	上村 公昭様	上村 公昭様	五百円也	閑口 智嗣様	五千円也	一、金	福島県	一、金	北海道
一、金	三千円也	柳村眞理子様	嘉俊様	上村 公昭様	上村 公昭様	五百円也	閑口 智嗣様	五千円也	一、金	北海道	一、金	北海道

神奈川県	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金	一、金
一、金	三千円也	山川 進様	赤井 智司様	千代様	上村 智彦様	西村 真紀様	森上 和久様	日高 博様	一万円也	池田ジyun様	三万円也	千葉県
一、金	三千円也	大西 崇博様	治男様	前田 治男様	前田 治男様	三千円也	赤井 智司様	千代様	三万円也	池田ジyun様	三万円也	埼玉県
一、金	三千円也	大西 崇博様	治男様	前田 治男様	前田 治男様	三千円也	赤井 智司様	千代様	三万円也	池田ジyun様	三万円也	埼玉県
一、金	三千円也	大西 崇博様	治男様	前田 治男様	前田 治男様	三千円也	赤井 智司様	千代様	三万円也	池田ジyun様	三万円也	埼玉県

クラウドファンディングからの御寄付

河合 立石	松本 釣井	工藤 伊藤	幸部 坂本	秋山 里沙様	一万五千円	楠目 桥本	砂田 WONG YUN	平尾 庄平様	大輔様 (高知市)	十萬円	森上 和久様	和久様 (神奈川県)	六十万五百円
智矢様 (静岡県)	真一様 (兵庫県)	貴之様 (東京都)	哲也様 (兵庫県)	舞様 (高知市)	一千円	吉郎様 (愛知県)	眞樹様	修章様 (東京都)	昭由様 (滋賀県)	三万円	小野 香川	中島 杉本	小野 鈴木
丈様 (大阪府)	文庫県	東京都	大阪府	岡山県	二万円	幸部 吉郎様 (愛知県)	坂本 真樹様	浅岡 平尾	庄平様 (埼玉県)	砂田 大輔様 (高知市)	橋本 楠目	森上 和久様 (神奈川県)	六十万五百円
(静岡県)	(兵庫県)	(東京都)	(兵庫県)	(高知市)		吉郎様 (愛知県)	眞樹様	修章様 (東京都)	昭由様 (滋賀県)	大輔様 (高知市)	楠目	和久様 (神奈川県)	六十万五百円

御寄付いただいた方の住所について

今回の御芳名は、現住所で記載をいたしておりますが、出身地区で記載を希望される方は、ご連絡ください。この名簿が木札となり、講堂に残ることになります。

岡	村瀬	吉田	神納	六千円	中野	宮尾	下蘭	田村	島村	西山	矢田部	小野	有様 (山口県)
土井	佐保	沙織様	杏奈様	五千円	吉瀬	浜崎	剛士様	剛士様	茨木	宮尾	修司様	中島	律様 (山口県)
信行	幸様	(香南市)	(愛知県)		賀子	賀子	咲子様	咲子様	田村	下蘭	達志様	小野	哲様 (東京都)
(岡山県)	(大阪府)	(高知市)	(愛知県)		陽光	陽光	陽光様	陽光様	茨木	西山	公香様	中島	佑香様 (東京都)
					彩乃	彩乃	賀子様	賀子様	島村	矢田部	圭一様	中島	桂子様 (兵庫県)
					乃	乃	(いの町)	(いの町)	宮尾	修司	(高知市)	小野	伸枝様 (愛媛県)
					平野	平野	秋葉	秋葉	中野	下蘭	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					長谷川	長谷川	永津	永津	茨木	西山	公香様	中島	圭一様 (高知市)
					瑞絵	瑞絵	晶子	晶子	吉瀬	矢田部	圭一様	中島	圭一様 (高知市)
					絵	絵	多紀	多紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳織	佳織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					喜	喜	貴大	貴大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					絵	絵	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					瑞	瑞	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					絵	絵	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	貴	貴	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	大	大	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	晶	晶	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	子	子	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	多	多	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	紀	紀	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ア	ア	佳	佳	吉瀬	修司	達志様	中島	圭一様 (高知市)
					ニ	ニ	織	織	吉瀬	修司	達志		

寄進、御奉仕への感謝録 志納御芳名

定福寺講堂 曼荼羅 新調

一、金三十万円也

施主怒田 大田 芳男 様

かおり 様

定福寺講堂 仏具 新調
一、金十万円也

施主沖 前田 大子 様

高松市 小笠原 博 様

八王子市 上村 友恒 様

八王子市 上村 賀恒 様

高松市 小笠原 博 様

八王子市 上村 友恒 様

八王子市 上村 賀恒 様

み頂いているご家族には、五年ごとにご案内を差上げ、ご供養を申し上げます。五十九回忌の後もお位牌は末代安置され、ご供養をさせて頂きます。
永代供養を申し上げます。

永代日牌供養

一、施主 大阪市 藤原 忠重 様

岩原 藤原家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 穴内 小笠原 真太郎 様

久生野 岡村家五靈位 菩提也

一、施主 高知市 岩村 輝明 様

岡村家地付き先祖 菩提也

一、施主 高知市 野々屋 永森家先祖代々 菩提也

宗圓 博之 様 菩提也

一、施主 東土居 小笠原 俊一 様

父 覚太郎 ツ 菩提也

一、施主 高知市 山崎 豊 様

義母 恭子 ツ 菩提也

一、施主 南国市 森尾 麻依 様

岩原 吉川家七靈位 菩提也

一、施主 神戸市 上東 白石 昌司 様

白石家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 赤根 小笠原 圭吾 様

小笠原家先祖代々 菩提也

一、施主 高知市 谷尻 西村家先祖代々 菩提也

（昨年の井上様ご供養の記載に誤りがございました。訂正して再掲載させていただきます。申し訳ございませんでした。）

一、施主 高知市 岡村 輝明 様

久生野 岡村家先祖代々 菩提也

野々屋 永森家先祖代々 博之 様

西久保 上村家先祖代々 悅弘 様

庵谷 小笠原家地付き先祖 菩提也

祠堂料志納御芳名

祠堂料とは、亡き仏さまへの報恩謝徳と菩提寺の興隆を念じて奉納される淨財です。その御芳志の高徳にお応えして、菩提寺より亡き仏さまに、院居士・院大姉・居士・大姉の法名が届けられます。

一、施主 佐賀山 小笠原 茂夫 様

母 須磨子 ツ 菩提也

一、施主 高知市 三村 厚彦 様

母 悅子 ツ 菩提也

一、施主 野々屋 氏原 芳男 様

母 尋子 ツ 菩提也

一、施主 新居浜市 西村 武司 様

母 悅子 ツ 菩提也

一、施主 東土居 小笠原 俊一 様

父 覚太郎 ツ 菩提也

一、施主 八畝 西村 直美 様

父 時宗 ツ 菩提也

一、施主 南国市 森尾 麻依 様

母 時宗 ツ 菩提也

一、施主 八川 叔父 吉川 潔 ツ 菩提也

父 松太郎 ツ 菩提也

一、施主 南国市 山口 千章 様

母 永森 誉 ツ 菩提也

永代日牌供養にお申込みになられた方は、持仏堂（弘法大師堂）にお位牌を安置し、毎朝仏飯とお茶をお供えし、長老と住職が読経しご回向いたします。春彼岸の入りには年回忌を迎える仏さまの卒塔婆を建立いたします。先祖代々としてお申込

新奉加御芳名 永代日牌供養・永代納骨供養

永代納骨供養

一、施主 高知市 井上 洋子 様

谷尻 西村家先祖代々 菩提也

（昨年の井上様ご供養の記載に誤りがございました。訂正して再掲載させていただきます。申し訳ございませんでした。）

粟生聖天尊 永代浴油御祈祷の お申し込みを受け付け致しております

定福寺のお聖天さまは、商売繁盛・家内安全・当病平癒・開運福寿・学業成就などにご利益があるといわれており、ご祈願が多く寄せられています。お聖天さまの氏子（子供）や信徒（熱心な信者）となり、毎年お札を受けることができます。

永代浴油祈祷は、申し込みの方が永代受けられるご祈祷です。

結縁灌頂予定

戸時代に定福寺で行われていたと考えられる「結縁灌頂」を令和八年十一月三日（祝・友引・火）に厳修をする予定です。

結縁灌頂は、大日如来をはじめとする曼荼羅諸尊と縁を結ぶ儀式です。結縁灌頂は、過去・現在・未来のあらゆる生命と絆を結ぶ儀式でもあります。結縁灌頂は檀信徒にとって至高の宗教的感動の機会とされ、弘法大師より引き継がれてきた儀式です。

お申し込みの方は、定福寺ホームページやお電話、メールにて受付いたします。

十二天屏風・種字曼荼羅に お名前を残しませんか

結縁灌頂に必要な支具（仏具）に、十二天屏風と種字曼荼羅というものがございます。江戸時代

に、定福寺所蔵として記録がありますが、明治に失われてしまいました。

この度、新たに梵字悉曇大家 呂玉義隆師と仏画師牧宥惠師にご依頼を

させて頂き、令和八年度に完成し、定福寺寺宝として所蔵され、結縁灌頂で重要な役割を果たすことになります。つきましては、この裏に寄進者としてお名前を残されませんか。御寄進は一口三十万円でお願い致します。

御寄進いただける方は、定福寺まで電話かメールにてご連絡ください。



十二天屏風



製作途中の種字曼荼羅

定福寺持仏堂・旭觀音堂での ご法事について



桂米二師匠

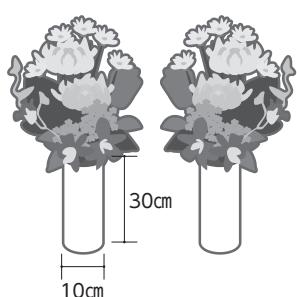
定福寺落語会

令和八年五月四日（月）十五時から、桂米二師匠をお迎えし、定福寺落語会を開催いたします。

詳細は、後日定福寺ホームページにて掲載いたします。是非ご参加くださいませ。

2026年 令和8年 年回忌表

一周忌	令和7年
三回忌	令和6年
七回忌	令和2年
十三回忌	平成26年
十七回忌	平成22年
二十五回忌	平成14年
三十三回忌	平成6年
五十回忌	昭和52年
百回忌	昭和2年
以下50年目ごと	
仏誕	2592年



- 果物、お菓子
(故人がお好きだったものなど)
- 御靈供膳(仏さまへのお膳)はお寺で準備いたします。
- お集まりになる方が大人数となる場合はお知らせください。

- 生花、シキビ
(花入れは一対準備しています)
- 線香、ロウソク一本
(大きめのものがあります)
- お位牌

定福寺持仏堂や、旭觀音堂でご法事を希望される方は、自宅でご法事をしてさし上げる用意に準備して、お供え物などのご持参をお願いします。

永続米（護持会費）の納入についてのお願い（令和8年分）

高知県は廃仏毀釈の影響が凄まじく、真言宗、天台宗を中心に600近くの寺院やお堂が廃寺になりました。吉野川沿岸で残ったのは定福寺だけでした。地域の方々や定福寺に御縁の方々がお米などの食料や仏具などさまざまにお納めいただき廃寺を免れました。その際お米を持ち寄ってくださったものが永続米です。現在でも皆様の支えにより定福寺が維持されています。皆様より平等に集められる永続米は、総本山智積院・智山派高知教区への負担金及び、定福寺の建物や境内の維持管理、広報通信費などに使用させていただいております。

東西豊永地区にお住まいの皆様には世話人・地区総代様にお世話になり、地区ごとに納入いただいている。東西豊永以外にお住まいのお檀家の方、また新しくお檀家になられた方には、お手数をおかけしますが、お届けしております振替用紙にてお納めください様お願いいたします。本年からは、下記のQRコードから、クレジットカードによりお納めいただくことも可能になりました。



永続米納入 QR

金1,500円以上也

1月末までにお納めください

郵便口座 口座記号 01620-7

口座番号 12426

加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

キャッシュレス

外国の旅行者の増加により、キャッシュレス決済を導入いたしました。この決済方法の導入により、各ご祈祷やご祈祷料をお納めすることもネットから可能になりました。金融機関に行く時間がない方などにはお申し込みが簡単になりました。また郵送の手間が省け、定福寺ホームページから申し込みが可能になりました。お子様やお孫様にお伝えいただければありがとうございます。また、この定福寺だよりも定福寺ホームページからご覧いただけます。是非ご活用ください



定福寺では、毎年除夜の鐘を十七時からいたしております。先着一〇八名には番号が記されたお札をお渡しいたしております。是非ご参拝くださいませ。
また一月一日より三日までの毎日二回、九時と十三時ご護摩祈祷を行っています。
護摩札に願文を書かれた方は、護摩の際に炉の中にご自身で、護摩札を入れてもらっています。

除夜の鐘について

連絡先を
お知らせください

豊永郷では、人口減少が進んでいます。多くの方々によつて問題解決されますが、緊急事態の時に頼りの方が外出されたり、遠方の子供や孫に連絡をしなければならない時があるかもしれません。実際に近年、そのようなことが何件ありました。そのような時のために、お子様や親戚の方などの連絡先をお寺にお伝えいただいておけば、お寺の住所録に記載し、お寺から連絡をとることができます。連絡をする際は、お寺から直接いたします。別の方に連絡先だけをお伝えするこ

定福寺の諸仏像 (県指定12体 ○印と◎印 平安時代作)・堂守

- [定福寺本堂]
- 阿弥陀如来像 (本尊)
 - 薬師如来像 (脇士)
 - 地藏菩薩像 (脇士)
 - 不動明王像
 - 毘沙門天像
十一面觀音像 (定福寺奥ノ院)
 - 不動明王像
 - 矜羯羅童子像
 - 制吒迦童子像
 - 歡喜天像
 - 大黒天像
 - 妙見菩薩像
- [講堂]
- 不動明王座像 (成田山伝来)
 - 制多迦童子 (成田山伝来)
 - 矜羯羅童子 (成田山伝来)

- 弘法大師像 (柳瀬地区)
地藏菩薩立像 (柚木地区)
地藏菩薩立像 (立野地区)
- [宝物殿]
- 六地藏 (笑い地藏)
 - 聖德太子立像
不動明王座像
弘法大師座像 (御影堂)
 - 毘沙門天
チベット砂曼荼羅・仏具
諸菩薩
神像
- [持佛堂 (大師堂)]
- 弘法大師座像
行基菩薩座像
興教大師座像

- [国登録有形文化財]
本堂、持佛堂 (大師堂)
[境内]
弘法大師修行像
十三仏像・七福神像
觀音像
四国88ヶ所お砂踏
仁王門
藥師堂
水神
熊野神社

定福寺開創 1303年前

令和8年 当山年中行事

行 事	日 時
修 正 会 大護摩祈祷 大般若經転読	1月1・2・3日
七 福 神 ま つ り	1月7日
節 分 会 (厄はね歳とり) 大護摩祈祷	2月1日 10時
檀 信 徒 年 回 忌 先 祖 総 供 養 (彼岸中日)	3月20日
土 砂 加 持 法 要 (先祖菩提総供養)	4月1日 14時
加持ヶ峰奥ノ院大師縁日 大護摩祈祷 (旧暦3月21日)	5月7日
花 ま つ り (大念珠まわし・百足除札授与・甘茶接待)	5月24日 (旧暦4月8日)
蓮 ま つ り (万靈供養) 土佐豊永万葉植物園保存会主催	7月初旬~8月中旬
諸 病 き ゆ う り 封 じ 祈 祷 土用の丑	7月26日 9時
お 盆 総 供 養 (迎え火)	8月13日 9時
施 餓 鬼 供 養 (千体地蔵流し・送り火) 東土居川原	8月16日 17時
もみじまつり	11月初旬~12月初旬
栗 生 聖 天 結 願 祭 (開運福寿)	11月16日 9時~13時
除 夜 の 鐘	12月31日 17時~
栗 生 聖 天 ご 縁 日	毎月1日・16日
お 不 動 さ ま ご 縁 日 (護摩祈祷)	毎月28日 7時
写 経 会 と 仏 教 講 座	毎月1回
御法事を営まれる際はなるべく早目にお申し込みくださいようお願いします。 (友引は葬儀、法事は執り行いません) お塔婆は1本2,000円です。	

発 行 所

真言宗智山派

宗教法人 栗生山 定 福 寺

〒789-0167 高知県長岡郡大豊町栗生158

TEL 0887 (74) 0301 FAX 0887 (74) 0302

HP : jofukuji-kochi.jp

郵便口座 口座記号 01620-7 口座番号 12426
加入者名 宗教法人 栗生山 定福寺

地区護持会	責任役員	責任役員	長 住
遍照講詠歌会講員	小笠原俊一	下村	老 職
一同	堯基	海老塚和秀	法類総代
		竹林寺住職	釣井 釣井
		龍宏	龍秀

令和八年

丙午

土佐豊永万葉植物園に咲く花（二十）



ふぢばかま（藤袴）

キク科（草本類）

多年草 秋の七草の一つ

花期は八月～十月

写真：岡田憲佳



フジバカマ（藤袴、学名：*Eupatorium japonicum*）とは、キク科ヒヨドリバナ属の多年生植物。秋の七草の一つで、秋に淡紅色の花を咲かせます。他のヒヨドリバナ属と比べると、葉はほとんど無毛でやや光沢があります。関東地方以西・四国・九州にみられ、和名の由来は諸説あります。秋の七草の一つに数えられ、花の色が藤色を帯び、花弁の形が袴のようであることから、「藤袴」の名が生まれたと言われます。万葉の昔から日本人に親しまれてきました。日本では、古く中国から渡來し帰化したと考えられていますが、日本在来のものがあるとの考えが有力です。人家に近い日当たりのよいやや湿った河原の堤防や、草地に自生しています。観賞用に庭や鉢などにも植えられます。近年の地球環境の変化によつて数を減らし、絶滅の恐れがあると危ぶまれる植物で、環境省のレッドリストでは2007年に準絶滅危惧（NT）種に指定されています。

フジバカマは、美しい浅葱色（あさぎいろ）の羽を持つ「アサギマダラ」という渡りをする蝶が好んで集まる花です。アサギマダラはフジバカマの蜜に含まれる「ピロリジンアルカロイド」という成分を摂取し、この成分はメスのフェロモンを生成するためには欠かせません。このため、フジバカマが咲く秋にはアサギマダラが日本各地で観測されます。アサギマダラは、台湾や東南アジアから日本へ、2,500km以上の長距離を旅することで知られています。フジバカマは、この長旅の途中でアサギマダラが羽を休めるための重要な場所となっています。

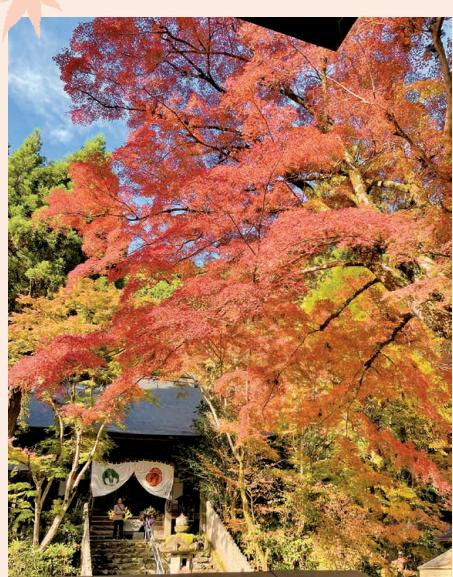
定福寺の境内には仁王門下石段など茶畠の脇に咲き、アサギマダラが飛んでくる様子も観察できます。

萩の花 尾花葛花なでしこの花 女郎花 また藤袴朝顔の花

山上憶良（万葉集卷八一 一五二八）

歌意：秋の七草は萩、すすき、葛の花、なでしこ、おみなえしとふじばかま、あさがお（さきょう）の花です。

万葉集中でフジバカマの歌はこの一首のみです。山上憶良が中国に留学した時、この花が中国で珍重されていたのを知っていましたから七草の一つとして数えたものと思われます。



11月初旬ごろから見ごろとなり、
下旬には落ち葉の中の散策が楽しめます

